

大軍拡・大增税ノ一 物価高騰から くらし・営業守る

県議3期12年 今度は4期目へ

佐藤まさゆき

1967年新潟県水原町(現阿賀野市)生まれ、金沢市額新保在住。金沢大学理学部物理学科卒。2000年～2009年衆院選4回・参院選1回立候補、2011年県議選当選(3期)。党県副委員長、石川憲法会議代表委員、県原水協代表理事。憲法を生ず新しい県政をつくる石川県民の会常任幹事/趣味=音楽鑑賞(最近の推しは、あいみょん)・落語鑑賞、民主主義文学会準会員

私のお約束



日本共産党



- 学校給食の無償化、国にさきがけ
小中学校全学年で30人学級を
- 子どもの医療費を高校卒業まで完全無料に
そのためにも県の助成対象年齢(今年4月から通院も就学前まで)
を中学卒業へ拡充
- 加齢性難聴の方への補聴器購入助成制度を
- 大学の学費半減、入学金廃止 ←国に強く要望します
最低賃金1500円以上で、8時間働けばまともに暮らせる社会を
- 検査・保健所体制の拡充で、
新型コロナ新規感染者を減らす手立てを
- 志賀原発に頼らず、再エネ・省エネを本格的にすすめ、
気候危機を打開
- 災害に強い県土づくりを!
森本・富樫断層帯など地震災害軽減へ全力

私も応援します!



新日本婦人の会
県本部会長
飯森 博子

子どもの医療費窓口
無料化・学校給食無

料化へ、新日本婦人の会としても6月1日
国際子どもデーに佐藤県議とともに毎年
県に要望してきました。地道な一步一步
が、医療費助成対象年齢拡大など大きな
成果となりました。佐藤さんを応援します。

いしかわ市民連合
横山 加奈子



県政のことはもちろん、
学生はじめ20代・30代
の要求にも応えてくだ
さり、食料支援や様々な企画を支えてくれ
ています。若い人たちの声を直接聞いてく
ださるからこそ、共に築く未来が具体的に
見えてきます!

あなたの 願いは、 私のちから

議員3期12年を通して

看護師・保健師時代からそうであったように、人に寄り添うことを大切に、3期12年、議員として活動してきました。この間、およそ500件の生活相談、100件以上の地域要望などを寄せていただきました。その中で見えてくる生活実態や地域の実情、要望をもとに議会で取り上げ制度の充実・改善に取り組んできました。

特にコロナ禍では、解雇や収入の減少、経営難など、毎日のように相談が相次ぎ、その実態をもとに、国や県、金沢市に保障制度の創設や充実を求めてみなさんと取り組んできました。

この大変な状況で「政治はあてにならない」という声もありましたが、政治がやるべきことをやればみなさんのくらしや営業が保障されることを実感しました。そして、行政や政治は、こうした大変な時にこそ力を発揮しなければならないと再認識しました。

コロナ禍、物価高騰で大変なとき、住民の命とくらしを守るには、医療や福祉、教育、中小企業への支援、労働環境の改善などが必要です。誰もが大切にされ、自分らしく豊かに生きられる金沢にするため、みなさんとともに引き続きがんばります。そして、平和都市宣言を行い、7つの姉妹都市をもつ金沢市として、軍拡増税は許さず、平和への外交努力を求めています。

どんな人?

1981年金沢市生まれ。十一屋小学校、野田中学校、金沢泉丘高校、埼玉県立大を経て、城北病院で看護師・保健師として8年間勤務。市内天神町在住。家族は夫と猫3匹。学童保育で遊んだ、けん玉や百人一首が得意。

主な活動地域 味噌蔵、材木、馬場、森山、十一屋、小立野、菊川、新登町、長町、松ヶ枝、長土塀、芳齋、田上、崎浦、内川、犀川、湯涌、東浅川、俵、医王山



4期目へ
がんばります!

広田みよ

金沢市議会議員



党金沢地区委員会
子育て・教育対策室長
山下あき



金沢市議会議員
森尾よしあき

一緒に
がんばります。

生活相談やご意見、お寄せください!

日本共産党 金沢市議員団
TEL: 076-220-2407 FAX: 076-260-6588
〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
E-mail: movieemovie@yahoo.co.jp

ブログ
「広田みよのみよみよ日記」で
情報発信しています!

みよみよ日記

検索



もご覧ください

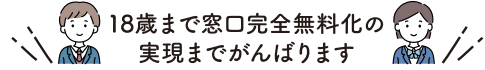
金沢
民報

2023年1・2月号 発行: 日本共産党金沢地区委員会
〒921-8022 金沢市中村町9-10
TEL: 076-243-3400 FAX: 243-3527
日本共産党金沢地区委員会の政策と見解を紹介します。

みなさんからの要望を受け、議会で取り上げ改善したもの（一部）

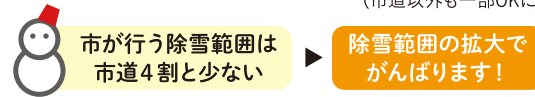
子どもの医療費助成制度の拡充

- 2014年10月 子どもの医療費助成の対象年齢が通院・入院とも15歳までに拡大
- 2015年7月 窓口で一部負担のみの支払いに
※それまでは、窓口で全額支払い後戻ってくる形式でした
- 2022年6月 石川県の補助が拡大 ※佐藤県議も取り組んできました



除雪の拡充

- 2021年11月 除雪基準が改善 第2次路線の積雪15cm ▶ 10cmで除雪開始
地域除排雪の補助割合などが改善 2/3 ▶ 3/4 (市道以外も一部OKに)



教育の充実

- 2017年3月 就学援助制度の入学準備金の前倒し支給へ
※8月から3月へ
- 2018年7月 小中学校普通教室にエアコン設置が決定
※現在すべての普通教室に設置されています

補聴器購入補助制度の提案

- 2022年9月 加齢性難聴に対する補聴器の購入補助制度を議会で取り上げ、市長が「研究する」と答弁

ほかにも

- 2021年7月 パートナーシップ宣誓制度の導入
- 2022年4月 保育士・学童保育指導員の給与引き上げ
- 2022年4月 保健所の保健師が7名⇒21名に増員(うち正規は4名)
- 2022年4月 国民健康保険の未就学児の均等割が半額に
- 2022年4月 市立中・高で女子トイレに生理用品が配置される

実現まで頑張ります!

安心してはたらき子育てできるように

- 保育士、学童保育指導員の処遇改善、人員増
- 保育料の引き下げ
- 学童保育の待機児解消
- 学校給食費を無償に
- 就学援助制度の拡充

年齢を重ねても安心してくらすように

- 介護保険料の引き下げ
- 介護士の処遇改善
- 補聴器の購入に補助を
- コミュニティバスの拡大

学生がお金の心配なく安心して学べるように

- 給付型奨学金制度の創設
- 家賃補助や通学費用の補助

災害、大雪から市民を守る

- 市が行う除雪範囲の拡大
- 市民参加の防災計画

ごみ有料化、宿泊税は見直します

市民のくらし充実へ

- 憲法で保障された健康で文化的な生活を誰もが送れるように税金の使い方を直します
- 議論ができる議会へ
- ごみの有料化やガス・発電事業の売却など、市民の理解を得ずに進めることのないよう民主主義を大切にします

クリーンな市政へ

- 議員の役割には行政のチェック・監視機能も大切です。予算も決算も厳しくチェックし、クリーンな市政にします



命と健康を守る

- 子どもの医療費助成制度を18歳まで完全無料に
- 国民健康保険料の引き下げ
- 病院・保健所の支援強化

地域経済活性化のために

- 消費税の引き下げ
- 地方交付税率の引き上げ
- 地元の企業を支援

だれもがくらしやすい金沢へ

- 若者への家賃補助
- ジェンダー平等
- パートナーシップ宣誓制度の拡充
- 障がいのある方への支援拡充

原発は廃炉に

- 志賀原発は廃炉に

地球温暖化対策を

- 再生可能エネルギーの増設
- 農林漁業の支援拡充



100年の歴史を持つ日本共産党の議員として



岸田政権が「敵基地攻撃能力」保有を閣議決定し、軍備増強の財源を国民負担として押しつけようとしています。戦前命がけで戦争反対を貫いた日本共産党を伸ばして審判を下しましょう。

物価高騰のなかで、民主青年同盟の青年たちが取り組む学生食料支援のサポート(写真)を通じて、「バイトが減って、食費を削らざるを得ない」との声をたくさん聞いてきました。苦難軽減を立党の精神とする日本共産党として悪政から暮らしを守るために全力をあげます。

昨年3月の知事選挙で、文字通りの自民党県政が誕生。県議会はいいも変わらぬ「オール与党県議会」で、馳県政を支えるもとで、唯一の野党としての頑張りが求められます。

ゆきづまった岸田政権を倒し、希望のもてる新しい社会をつくるためにも、4たび県議会に押し上げてください。



民青同盟が取り組んだ食料支援は7回、500人の学生が利用しました＝11月23日、金沢市内

新型コロナ対策 検査・保健所体制の拡充求めて

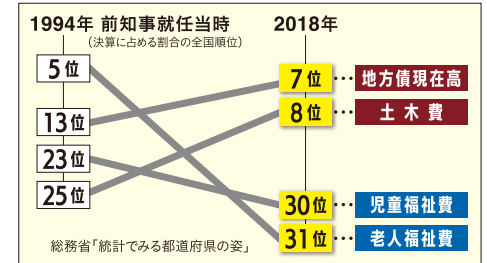
政府の新型コロナ対策はなりゆきまかせ。新規感染者を抑えるために、いっせいで検査・無料検査の拡充、保健所体制の強化などをこの間何度も知事へ要請、繰り返し議会で取り上げてきました。

県民の声をまっすぐ届け、運動と結んで実現

- 子どもの医療費は、いったん病院の窓口で支払って後から戻ってくる償還払いでしたが、2014年9月に県の姿勢を変えさせたことで、今では県内すべての自治体で窓口無料になりました
- 重度心身障害者の方の65歳以上償還払いも、2020年10月から、65歳までと同様窓口無料に
- 学校給食のパンに使う小麦をすべて国産に変えさせ、生理用品も県立学校のトイレに常備

唯一の野党として

馳知事の言う「谷本県政の継承・発展」とは、くらし後回し・大型開発優先の税金の使い方です。土木費などの投資的経費を全国水準並みにすれば、年間百億円程度の財源が生まれ、くらし応援の施策にあてられます。



国の悪い政治の押し付けから県民を守る

「国会議員時代のパイプを生かして」知事が国の悪政を押しつけることには真正面から対決します。

県議会における意見書の各派の態度

	共産	自民	公明	未来	参政
敵基地攻撃能力保有などの施策中止求める(2022年5月議会)	◎	×	×	×	×
年金削減中止、減らない年金を求める(2022年2月議会)	◎	×	×	×	×

◎=提案・賛成 ○=賛成、×=反対